

# 平成30年度「ミュージアム・リレー」参加者募集のお知らせ

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (2018. 3. 1)



豊かな自然と文化に恵まれた西さがみ地域には、多くの特色ある博物館や美術館等のミュージアム施設があります。ミュージアム・リレーは、「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (WESKAMS)」の加盟施設によるリレー形式の催しです。地域の皆様の学習支援と地域文化の発展のため、各施設が連携・協力し、広く一般に公開しています。

各施設の特色を活かした特別な企画や、スタッフによる分かりやすい解説が好評です。ミュージアムに親しみ、理解を深める機会としていただけますよう、みなさまのご参加をお待ちしております。

第248走 4月20日(金) 箱根ビジターセンター→箱根湿生花園	
10:00~12:00 箱根ビジターセンター	13:30~15:30 箱根湿生花園
春爛漫のビジターセンター周辺をのんびりお散歩します。見頃を迎えたマメザクラ・ヤマザクラ・オオシマザクラ、ミツバツツジやスマレの仲間の美しい花や芳しい香り、南の国から渡って来た色鮮やかな夏鳥の囀り、賑やかなカエル声… 五感を使って箱根の春を満喫しましょう。 荒天の場合は、ビジターセンター館内で、スライドショーと桜の花びらのしおり作り体験を予定。	箱根湿生花園は、湿原をはじめとして川や湖沼などの水湿地に生息している植物を中心にした植物園です。園内には、日本各地に点在している湿地帯の植物200種のほか、草原や林、高山植物1100種が集められ、その他、珍しい外国の山草も含め、約1700種の植物が四季折々に花を咲かせます。園路は低地から高山へ、低層湿原から高層湿原へと順に植物を見てまわるようになっています。ミュージアム・リレーでは、当園の学芸員が専門的かつ詳細な解説で皆さまをご案内いたします。
定員20名 無料	定員20名 参加費 大人600円 小人300円
電話で4月20日(金)まで 定員に達していない場合、当日受付も可	Tel. 0460-84-9981 電話で4月15日(日)まで Tel. 0460-84-7293

第249走 5月16日(水) ◆国際博物館の日記念事業◆ 箱根美術館→箱根写真美術館→箱根強羅公園		
10:00~12:00 箱根美術館	13:00~13:50 箱根写真美術館	14:00~15:30 箱根強羅公園
縄文土器から鎌倉・室町時代の常滑、瀬戸、備前、信楽など六古窯、江戸色絵陶磁器、中国から西アジア、ギリシヤまでの古陶磁器を中心に展示する美術館。苔とモミジの苔庭、巨岩と溪流の石楽園、竹庭など、国の登録記念物に登録された四季折々に美しい庭園を併設している。当日は、美術館・美術品の解説、庭園の案内の他、通常非公開の施設の特別拝観を予定しています。	箱根出身の写真家・遠藤桂による富士の作品の常設展と、企画展をご覧いただき解説をさせていただきます。	1914年に開園し、100年を超える歴史を有しています。園内には公園のシンボルであるヒマラヤ杉や噴水のほか、白雲洞茶苑や熱帯植物館、ブーゲンビレア館などがあり、スタッフが園内をご案内いたします。
定員30名 参加費3館で1,000円		
往復葉書で5月9日(水)必着 〒250-0408 神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300 箱根美術館リレー係 宛 Tel. 0460-82-2623		

第250走 7月18日(水) 箱根駅伝ミュージアム→箱根ガラスの森美術館	
10:00~12:00 箱根駅伝ミュージアム	13:30~15:00 箱根ガラスの森美術館
1920年の第1回大会から今日に至るまで、90年余りの数々の名場面を生み出した箱根駅伝の歴史をお楽しみ頂けます。 各大会の名シーンを記録した貴重な写真や、往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にあるさまざまなエピソードなどをテーマを区切って展示してあります。 箱根駅伝の歴史をお楽しみください。	特別企画展「～奇跡のガラスを生んだ～華麗なるパロヴィエール一族展」を美術館スタッフがご案内します。ガラス職人の一族パロヴィエール家は、15世紀に世界初の透明ガラスを発明したアンジェロから、19世紀に糸のように細い脚で自立するガラスの制作に成功したジュゼッペに至るまで、常にガラスの可能性に挑戦しヴェネチアン・ガラスの発展に深く関わってきました。今回のミュージアム・リレーでは、パロヴィエール家の名工達が発明した数々の技法を紹介するとともに、世界でも数少ない「風にそよぐガラス」や、日本初公開となるパロヴィエール家のコレクションを含め約80点を展示し、ガラスの多様性を築き上げたパロヴィエール一族の探究心に迫ります。
定員20名 参加費400円	定員40名 無料 (駐車料金300円 無料の第3駐車場も近くにあります)
電話で7月17日(火)午前まで Tel. 0460-83-7511	往復葉書で6月26日(月)必着 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原940-48 箱根ガラスの森美術館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel. 0460-86-3111

第251走 8月24日(金) 生命の星・地球博物館→小田原市尊徳記念館	
10:00~12:00 神奈川県立生命の星・地球博物館	14:00~16:00 小田原市尊徳記念館
巨大な恐竜や隕石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本により、「生命の星・地球」の誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を展示しています。当日は、特別展「地域植物誌をつくろう!~神奈川県植物誌2018のできるまでとこれから~(仮)」を学芸員がご案内します。神奈川県は全国で最も植物相(ある地域に生育する植物の全容)が解明されている地域であり、1979年から続く市民グループ、「神奈川県植物誌調査会」がその解明を牽引してきました。同会による最新の調査成果「神奈川県植物誌2018」から神奈川県の植物相の今を解説するとともに、地域の植物をどうやって調べ、記録してきたのか、博物館を拠点とした地域植物誌調査の歴史と意義、これからの展望とともに紹介します。	1月にリニューアルした尊徳記念館展示室を、担当した学芸員の解説を交えながら見学します。併せて、明治~昭和初期に実施された栢山地区の尊徳関連の史跡整備について、実際に現地に訪れて、その経緯などについて同館学芸員が解説します。
定員20名 無料	定員30名 無料
往復葉書で8月9日(木)必着 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel. 0465-21-1515	電話で8月22日(水)まで Tel. 0465-36-2381

第252走 9月14日(金) 箱根関所→恩賜箱根公園	
10:00~12:00 箱根関所	13:30~15:30 神奈川県立恩賜箱根公園
箱根関所は江戸時代初期の元和5(西暦1619)年、現在の場所に設置されたと伝わり、来年で400年になります。五街道の中でも江戸と京を結ぶ主要な道「東海道」の往来を監視する重要な役割を担い、260年間に亘る徳川政権を支えた重要な交通施設でした。現在の建物は幕末の慶応元(西暦1865)年に大規模改修がされた時の史料に基づき、当時のままの姿に正確に復元したものです。江戸幕府は全国に53~55ヶ所の関所を設置しましたが、明治になり全て廃止されてしまい現在ではその名残として僅に石碑や看板が建っているといった所が大部分です。そのような中にある、ここ箱根関所は建物のみならず周囲に張り巡らされた木柵など、江戸時代の環境を全て復元しています。「一歩足を踏み込めば、そこはまさしく江戸時代!」当時の旅人気分になって江戸時代の関所をご堪能ください。お待ちしております。	神奈川県立恩賜箱根公園は、明治19年に築造された皇族の避暑地や外国からの来賓をもてなす「箱根離宮」の跡地に広がる公園です。富士山を正面に芦ノ湖を見下ろす景色は往時のままで、その痕跡も残されております。離宮の歴史と浪漫を現代に伝え未来へとつなぐ当公園で素晴らしい景色と歴史をお楽しみ下さい。また、平成25年には国登録記念物(名勝地関係)にも登録されており、園内の見どころをご案内します。
定員20名 無料	定員20名 無料 (恩賜箱根公園駐車場は有料)
往復葉書で9月4日(火)必着 〒250-0521 神奈川県足柄下郡箱根町箱根1 箱根関所 宛 Tel. 0460-83-6635	往復葉書で9月4日(火)必着 〒250-0521 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根171 恩賜箱根公園宛 Tel. 0460-83-7484
午前・午後両方に参加の方は、その旨を記載していただければ、両施設で連絡を取り合いますので、ハガキはどちらかの施設分のみで結構です。	

第253走 10月19日(金) 中川一政美術館→遠藤貝類博物館	
10:00~12:00 真鶴町立中川一政美術館	13:30~15:30 真鶴町立遠藤貝類博物館
真鶴町にアトリエを構えて戦後の日本洋画壇をけん引し、文化勲章受章者である中川一政画伯の美術館です。真鶴半島自然公園の樹林に囲まれた落ち着いた雰囲気の中で、絵画・書・陶芸などの作品を通じて中川芸術の魅力に触れていただけます。本年度は、開館30年を迎えるにあたり、中川一政美術館の30年のあゆみを振り返る企画展の開催を予定しています。当日は、当館学芸員の解説とともに、開催中の展示と、美術館に隣接するお林展望園の建物内にて、画伯の生前のままに復元したアトリエをご覧ください。	当館では、真鶴出身の貝類研究家、遠藤晴雄氏が収集した貝類標本を収蔵・展示しています。5万点にも及ぶコレクションの中には、サザエやアサリといったおなじみの顔ぶれから、生きた化石と称されるオキナエビスまで、多種多様な貝類が見られます。それらを例に、生き物の造形の不思議や、それをもたらす環境とのつながりについて学芸員が解説します。名勝三ツ石を眺める真鶴岬で、多様な貝の世界と自然の魅力にどっぷり浸かりましょう。
定員50名 参加費300円	定員50名 参加費 大人200円 小人100円
電話で10月18日(木)16時まで Tel. 0465-68-1128	電話で10月17日(水)まで Tel. 0465-68-2111

第254走 11月9日(金) 小田原文学館→松永記念館			
10:00~12:00 小田原文学館		13:30~15:30 松永記念館	
当館の建物は、明治政府のもとで宮内大臣などを歴任した、伯爵田中光顕の別邸として建てられたものです。小田原出身・ゆかりの文学者の資料を展示する本館と、大正時代に小田原で創作活動を行った北原白秋を紹介する別館はいずれも国登録有形文化財で、四季折々に美しい姿を見せる庭園も見どころです。当日は、開催中の特別展「民衆(仮)」を中心に、小田原文学館の魅力を解説付きでご案内します。		今日の電力体制を創り上げた実業家で、数寄茶人としても高名であった松永安左エ門(耳庵)の記念館です。松永翁ゆかりの資料のほか、四季折々の草花が美しい庭園(「日本の歴史公園100選」)や松永翁が晩年を過ごした邸宅・老樺荘(国登録有形文化財)がみどころです。ミュージアム・リレーでは、特別展「生誕450年記念 西相模に生きた禅僧・風外慧薫(仮)」と老樺荘を解説付きでご案内します。	
定員30名 無料		定員20名 参加費500円	
電話で11月8日(木)まで	Tel. 0465-24-1055 (小田原市立図書館)	電話で11月8日(木)まで ※10/10(水)より受付	Tel. 0465-23-1377 (小田原市郷土文化館)

第255走 11月16日(金) 徳富蘇峰記念館→箱根町立郷土資料館			
10:00~12:00 徳富蘇峰記念館		14:00~16:00 箱根町立郷土資料館	
相模湾沿岸地域にゆかりのある名士と、徳富蘇峰との交流を描く全3回シリーズの最終編です。大磯より東の地域、平塚から茅ヶ崎、藤沢、鎌倉、逗子、葉山、横須賀までの各地にゆかりのある諸士を取り上げます。「三浦半島から、伊豆半島の沿岸は、如何にも日本の名勝地だ」と記した徳富蘇峰。同じく相模湾の風光を愛でた各方面の著名人士と、何を語りどう親交を深めたのか。人気保養地の歴史を物語る往時の写真とともに、その圧巻の交遊録に迫ります。		湯治場として知られた箱根が江戸時代頃を境に現在の温泉観光地へと移り変わっていく様子を、温泉開発などを絡めて紹介しています。また体験コーナーでは、ミニチュアの「わらじ作り」や「からくり細工」体験、塗り絵で明治時代の彩色写真を疑似体験する場を設けておりますので、お立ち寄りの際はぜひチャレンジしてください。今回のミュージアム・リレーでは、150年前の箱根で繰り広げられた戊辰戦争を題材にした企画展「戊辰戦争と箱根」(仮)を中心に解説します。	
定員35名 参加費500円(通常700円)		定員20名 無料	
電話で11月14日(水)まで	Tel. 0463-71-0266 (10:00-16:00) 月曜を除く	電話で11月15日(木)まで	Tel. 0460-85-7601

第256走 12月7日(金) おだわら諏訪の原公園→小田原城天守閣			
10:00~12:00 神奈川県立おだわら諏訪の原公園		14:00~16:00 小田原城天守閣	
県立おだわら諏訪の原公園は、小田原市の北西部に位置する県立公園です。「ふるさとふれあい公園」をテーマに整備され、里山の自然や地域の文化に触れあいながら、散策やレクリエーションなどを楽しめる公園です。丹沢山系や足柄平野の眺望が楽しめる広場や、芝生の広場、全長169mのローラー滑り台などがあります。 ミュージアムリレー当日は、当園で管理をしているミカン園にて、ミカンを中心とした柑橘類のガイドツアー、ミカンの食べ比べ、ミカンの収穫体験などを行います。		昭和35年に復興された小田原城天守閣では、小田原城や小田原北条氏に関する古文書や甲冑など幅広い資料を展示しています。平成28年5月に平成の大改修を経て、全面リニューアルオープンしました。 今回は、常設展示の紹介を通じて小田原城や小田原北条氏の歴史を紹介いたします。	
10組(多数の場合は抽選) 参加費500円(1組当たり)		定員40名 無料	
電話で11月30日(金)まで	Tel. 0465-34-0404	電話で11月30日(金)17時まで	Tel. 0465-23-1373

第257走 12月13日(木) 箱根ラリック美術館→星の王子さまミュージアム			
10:00~12:00 箱根ラリック美術館		13:30~15:30 星の王子さまミュージアム 箱根サンテグジュペリ	
フランスを代表するジュエリーとガラス工芸の巨匠、ルネ・ラリック(1860-1945)の生涯に渡る作品に出会える美術館です。展示室には、多くの女性を魅了した美しい香水瓶や色鮮やかな宝飾品、空間をガラスで演出した作品など、幅広いジャンルの中から厳選した約230点を展示しています。当日は、ジュエリーとガラス工芸という全く異なる二つの分野で成功を成し遂げた、ラリックの姿勢や想いをスタッフが分かりやすく解説いたします。		名作『星の王子さま』とその作者サンテグジュペリを紹介する世界で唯一のミュージアム。映像と展示で作者の生涯をたどり、名作誕生の経緯を詳しく知ることができます。当日はミュージアム入口から展示ホール内を詳しく案内し、サンテグジュペリの生涯とともに、『星の王子さま』にこめられた大切なメッセージについて解説いたします。	
定員50名程度 無料(駐車場無料)		定員50名程度 参加費1,000円 園内アンケートにお答え頂ける方	
往復葉書で11月30日(金)必着	Tel. 0460-84-2263 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原186-1 箱根ラリック美術館 ミュージアム・リレー係 宛	往復葉書で11月15日(木)必着	Tel. 0460-86-3700 〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原909 星の王子さまミュージアム ミュージアム・リレー係 宛

第258走 2月8日(金) MOA美術館	
10:30~12:00 MOA美術館	
MOA美術館のコレクションは、創立者・岡田茂吉(1873~1955)が蒐集した日本・中国をはじめとする東洋美術を中心に構成されています。開催中のコレクションについて学芸員が紹介をいたします。梅花の香る熱海で日本・東洋美術の精華をゆっくりとご鑑賞ください。 (場所: MOA美術館能楽堂)	
定員 100名 参加費 1,000円	
往復葉書で2月4日(月)必着 〒413-8511 静岡県熱海市桃山町26-2 MOA美術館ミュージアム・リレー係 宛 Tel. 0557-84-2567	

第259走 3月8日(金) 小田原フラワーガーデン→生命の星・地球博物館	
9:30~11:30 小田原フラワーガーデン	13:30~15:30 神奈川県立生命の星・地球博物館
四季折々の花が楽しめる小田原フラワーガーデンの2月は、梅の季節です。公園の約半分の面積(約2ha)に広がる「溪流の梅園」は、約200種480本の梅が植栽されており、梅の品種は県内最多数を誇ります。 当日は梅の品種やマメ知識を中心としたガイドツアーや、約300種類の熱帯植物が楽しめる「トロピカルドーム温室」のガイドツアーも行います。また当園の大人気イベント、すっぱいレモンが甘くなる!?!不思議な果実体験「ミラクルフルーツ体験」も行います。	巨大な恐竜や隕石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本により、「生命の星・地球」の誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を展示しています。当日は、企画展「箱根ジオパーク展—身近な火山と友達になる—(仮)」を学芸員がご案内します。箱根ジオパークは2016年、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町に加え、南足柄市が加わり新たにスタートしました。火山は思わぬ災害をもたらすことがしばしばあります。しかし、噴火は一時的なもので、私たちは静穏な時期に多くの恵みをもたらしています。箱根火山はこのような火山の仕組みを理解する上で、最も身近な存在です。展示を通じて箱根火山と友達になり、火山に関する理解を深めてください。
定員 20名 参加費 200円	定員 20名 無料
電話で3月7日(木)まで Tel. 0465-34-2814	往復葉書で2月21日(木)必着 Tel. 0465-21-1515 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館 ミュージアム・リレー係 宛

第260走 3月15日(金) 人間国宝美術館→町立湯河原美術館	
10:00~12:00 人間国宝美術館	13:30~15:30 町立湯河原美術館
当館では、国から重要無形文化財保持者の認定を受けた、いわゆる人間国宝の陶芸・人形・漆芸・染織などの作品を、近代絵画や古陶磁などと取り合わせて常時約200点展示しています。当日は開催中の特別企画展の内容を踏まえながら、人間国宝による陶芸作品の魅力をご紹介します。また、入館者全員に人間国宝など有名作家が作ったお茶碗で抹茶を一杯サービスいたします。普段は展示ケースの中に入っているような作品を実際に手に取ることができますので、作品の魅力を心行くまでお楽しみください。	当館には、日本画家・竹内栖鳳を中心に湯河原ゆかりの作品を展示する常設館と現代日本画家・平松礼二の作品を展示する平松礼二館があります。作品は3か月ごとに展示替えを行います。昨年10月にオープンした平松礼二アトリエでは、制作途中の作品や実際使用している日本画画材を見学することができます。また、四季の自然を楽しめる庭園や足湯付きオープンカフェ、ミュージアムショップも併設しています。当日は、企画展及び常設館・アトリエをご案内いたします。
定員 30名 参加費 900円(抹茶・菓子付)	定員 20名 参加費 400円
電話で3月14日(木)16時まで Tel. 0465-62-2112 ※駐車場が狭いため、なるべく公共交通機関をご利用ください。	電話で3月14日(木)まで Tel. 0465-63-7788

【お申し込み方法】施設ごとに指定の方法でお申し込み下さい。

電話の場合(先着順) : 参加人数、参加者全員の住所・氏名・電話番号をお伝えください。

往復葉書の場合(抽選) : 往信面に①参加希望の館園名、②参加人数、③参加者全員の住所・氏名・電話番号

返信面に申し込みされた方の住所・宛名 を書いてお申し込み下さい(締切日必着です)。

- \* 特に記載のない限り各開催日の3か月前から受け付けます。
- \* 各施設、お1人・1グループにつき1回の申し込みでお願いします。
- \* 開催場所への移動は各自でお願いいたします。
- \* 駐車料金がかかる場合があります。

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会とは?  
神奈川県西部地域のミュージアム施設が相互交流を通じて生涯学習時代にふさわしい「開かれたミュージアム」のあり方を探求するために、平成8年、神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会(通称WESKAMS)が設立されました。